

平成27年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2, 3 3 8	2, 3 5 7	1 9	(注1)
施設整備費補助金	1 6	3 0	1 4	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	8	8	(注3)
国立大学財務・経営センタ ー施設費交付金	1 7	4 2	2 5	(注4)
自己収入	4 1 0	4 0 0	△1 0	
授業料、入学料及び検定 料収入	2 2 3	2 2 7	4	(注5)
附属診療所収入	1 1 6	1 1 5	△1	(注6)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	7 1	5 8	△1 3	(注7)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	1 9	7 2	5 3	(注8)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	1 0 1	1 1 0	9	(注9)
計	2, 9 0 1	3, 0 1 7	1 1 6	
支出				
業務費	2, 8 4 8	2, 8 2 8	△2 0	(注10)
教育研究経費	2, 6 6 2	2, 5 6 7	△9 5	
診療経費	1 8 6	2 6 1	7 5	
施設整備費	3 3	7 2	3 9	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	8	8	(注12)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	1 9	6 1	4 2	(注13)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1	1	0	
国立大学財務・経営センタ ー施設費納付金	—	—	—	
計	2, 9 0 1	2, 9 7 0	6 9	
収入－支出	—	4 7	4 7	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、追加配分による増加等により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。
- (注3) 補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では予定していなかった施設費交付事業（第二次）による追加交付があったため、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、在学者の増等により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注6) 附属診療所収入については、患者数が増加したものの、診療単価の低い診療の患者割合が増加したことにより、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注7) 雑収入については、主として間接経費収入が減少したことにより、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金や受託研究等収入の獲得が好調だったこと等により、予算額に比して決算額が53百万円多額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、一部事業の実施時期を変更したことにより、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注10) 業務費のうち教育研究経費については、学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が95百万円少額となっています。また、診療経費については、主として保健科学部附属東西医学統合医療センター西棟建設事業の実施等により、予算額に比して決算額が75百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)及び(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注12) 補助金事業費等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が42百万円多額となっています。